

2018年度教育研究活動報告用紙(様式9(2018))

| | | | | | |
|----|-------|----|----|----|--------------|
| 氏名 | 末成 妙子 | 職名 | 教授 | 学位 | 教育学修士(音楽教育学) |
|----|-------|----|----|----|--------------|

| 研究分野 | 研究内容のキーワード |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・音楽教育学 ・特別支援教育学 ・幼児教育学 | <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害教育(聴覚障がい児の器楽合奏教育) ・こども音楽療育 ・表現(身体・音楽) |

| 研究課題 |
|---|
| <p>聴覚障がい児の実態を深く理解し、障がいによりそった音楽教育を展開できる保育者を養成するための研究を深める。同時に「こども音楽療育」に関して、音楽の多様な力を日常の保育の中で生かし、子どもの発達を支援する保育者を育てるために、保育の領域を広く見据え、考察し音楽面の実践力をつける方法を研究する。ピアノ技法的には決して高度ではないものの、こどもの演奏を存分に引き立たせる、保育者にとって演奏しやすい効果的な楽曲を使って、実際の保育の場面で生かし検証する。障がいのある子ども、そうでない子ども共に活動ができ、発達を促すための配慮を尽くした「音あそび」「表現あそび」について研究する。</p> |

| 担当授業科目 |
|--|
| <p>こどものうたあそび(後期) 保育内容「表現(身体・音楽表現)」(前期) 保育総合表現(後期) こども音楽療育概論(前期) こども音楽療育概論(後期) こども音楽療育実習(後期)</p> |

| 授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項) |
|--|
| <p>授業科目名【 保育内容「表現(身体・音楽)」 】 後期の総合表現につなげるために「音楽を用いた身体表現」、「劇あそびと音楽を関連づけた表現あそび」を実体験するように構成した。繰り返しを楽しむ絵本「こぐれけいすけ作「れんけつがっちゃん」「とんねるくん」など実際の本を使って音楽と言葉のかかわりの深い表現を楽しむこと、リズムを身体表現とピアノ以外の楽器の効果を使いながら、幼稚園・保育園で使われる身近な楽器の扱いを学ばせるなど、学生が体を使っての音楽的な活動を体験しながら表現の楽しさを実感でき、さらにお互いの表現活動を考察する授業展開を構築した。音楽表現を使った劇遊びでは、グループによる協働作業を重視した。末成自作の楽曲と、全音音階を用いた西洋音楽の和声とは異なる響きを十分に体感させた。</p> |
| <p>授業科目名【 こども音楽療育概論 】 末成の行ってきた実践を多く取り入れて講義を進めた。障がいのある子どもたちが音楽を楽しんで学び、コミュニケーションの手段を少しずつ手に入れ、ゆっくりだが着実に周りとの関係性を深めていく姿を、実際の映像など見せながら、障がいを持つ子どもへの理解を深めさせた。資格習得のために学生も緊張感を持って臨んでいた。24名の受講生は受講態度もまじめで、向学心を持ち、緊張感を持っていた。音楽の多様な力を持つ療育的保育ということになじみが薄いので、発達障がいを含めた多様な障がいの実態を知って、現在の重度・重複化の傾向を持つ子どもの障がいについて理解を深めるように、できるだけ実際の音や効果、方法、音楽の力を示しながら講義を進めた。</p> |

| |
|---|
| <p>授業科目名【 保育総合表現 】</p> <p>後期の授業でありながら、保育科全体のまとめと位置づけられている科目である。2019年1月19日に黒崎ひびしんホールにおいて、学生の脚本、演出による「こどものためのミュージカル」を開催した。集客と予算の問題を抱えながらも職場へ出てからの舞台づくりの手順を学んだり、協力して行うことの大切さ、そして表現する充実感を存分に味わうことができた。舞台に立った演技者はもちろん、大道具、小道具、衣装、音響とそれぞれの力を結集し、舞台を作るプロの裏方の方とも綿密な打ち合わせを行い、充実した舞台を作る体験することができた。本年度で4回目ということもあり教員間の共通認識も高まり、また宣伝用のチラシの発行、会の流れなど学生各々が自覚を持って取り組むということができた。大道具の運搬に手間取ることがあったが、これらを次年度に生かしたい。</p> |
| <p>授業科目名【 こども音楽療育演習 】</p> <p>学生一人ひとりが音楽療育の曲集「静かな森の大きな木」から、楽曲を選びセッションを実演しながら、お互いを評価し合う授業を行った。スマートフォンの普及で、こどもの「手遊びうた」「うたあそび」は、どこの誰とも知らない個人のアップした映像をまねるといった短絡的な資料で行う傾向がある中で、この授業では障がいのある幼児さんがいる保育場面で、実際の曲はどのように自分でアレンジしたらよいかということをも未成と個別に検討し、楽譜に書き表し、それを含めたセッションの全体の流れを構築するという手順で進めた。ピアノにとらわれず様々な楽器を使うことや、言葉かけの方法、曲の提示の仕方を未成の助言を参考にしながら、後期の「こども音楽療育実習」につなげることを目指した。</p> |
| <p>授業科目名【 こどものうたあそび 】</p> <p>保育園・幼稚園では1日たりとも音楽、歌うことがない日はない、と言っても過言ではない。「うたあそび」つまり、歌いながら手や指先、からだを動かしてあそぶこと、リズムにのってあそぶことが人間関係を深めていくことを学生に十分に理解させた。園生活において保育者は「うたあそび」を積極的に取り入れ、こどもたちに歌いかけ、スキンシップをし、ふれあいながら遊ぶことが集団遊びにつながることで、そして保育者や友達と一緒にリズムに乗って軽快に動く遊びの中からこどもの「協調性」や「感性」が育つことを毎回多くの課題曲として練習した「こどものうた」の中で学ばせた。歴史的なわらべ歌から最近のこどもの歌まで、莫大な数のこどものうたから、わずか15回の講義にどの曲を学ばせるかを、未成が20年余り研究してきたこどものうたから選ぶことが授業開始前の多くの時間を費やした部分である。童謡コンクールに携わった経験から、こどもの歌の重要性を様々な場面で実演して講義を進めた。最初はためらいの多かった学生も、回を重ねるごとに各自が持ち前の個性を発揮して、明るくはっきりした歌声で実に楽しく歌い合い、見せ合い、動き、あそび、たくさんの歌を自分のものにしていった。「はじまりとおわりのうたあそび」「指や手の動きを楽しむうたあそび」「体の動きを楽しむうたあそび」「行事や生活のうたあそび」「集団で楽しむうたあそび」などテーマを絞って提示することと、単独の身体表現を含めてのうたあそび・輪唱あそびなど、未成考案のたくさんのこどものうたにふれることを並行して行い、積極的に「うたあそび」を楽しむ姿勢が身についた。</p> |
| <p>授業科目名【 こども音楽療育実習 】</p> <p>「こども音楽療育概論」「こども音楽療育演習」を踏まえて実習を行った。実際に「小倉北特別支援学校」「あやめの森保育所」の2か所において障がい児たちとの療育的音楽活動を展開し、その活動を通して、今までの机上の学び、学内での演習をより実践的な知識や技能を深めることにつなげることができた。実習の記録を1冊の冊子にまとめたことで実践(12月のクリスマス音楽会・小学部クリスマス会参加)の準備・指導案の立案・教員からの指導を関係付けながら振り返ることが行いうことができた。それぞれの学びの足跡が明確で、他のグループとの比較検討も容易になり、学びを深め合うことができた。</p> |

| 学 会 に お け る 活 動 | | |
|-----------------|-----------|-------------|
| 所属学会等の名称 | 役職名等 (任期) | 加入時期 |
| 日本音楽教育学会 | 正会員 | 2011年～現在に至る |

| 2018年度 研究業績等に関する事項 | | | | |
|--------------------|---------|-----------|---------------------|----|
| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
| | | | | |

| 2018年度 研究業績等に関する事項 | | | | |
|--------------------|---------|-----------|---------------------|----|
| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
| (著書) なし | | | | |
| (学術論文) なし | | | | |
| (翻訳) なし | | | | |
| (学会発表) なし | | | | |

| 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む） | | | |
|---------------------------------|------|--------------------|-----------------|
| (1) 共同研究 | | | |
| 研究題目 | 交付団体 | 研究者 ○代表者（）内は学外者 | 交付決定額 （単位：円） |
| なし | | | |

| 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む） | | | |
|---------------------------------|------|-----------------|----|
| (2) 個人研究 | | | |
| 研究題目 | 交付団体 | 交付決定額 （単位：円） | 備考 |
| なし | | | |

| 社会における活動等 | | |
|--------------------|--------------|-----------|
| 団体・委員会等の名称 （内容） | 役職名等 | 任期 期間等 |
| 直方市』私立幼稚園教諭研修会 | 講師「幼児期の音楽活動」 | 2018年8月9日 |

| 学内における活動等（役職、委員、学生支援など） | |
|-------------------------|---|
| 国際交流委員会 公開講座委員会 | 副委員長 留学生選考の面接試験において試験官を務めた。 副委員長 |
| 10月21日（日） | 保育科60周年記念講演会「絵本と音楽の世界～保育科のこれからの旅する」において講演 |
| 8月19日（日） | オープンキャンパス 模擬授業「こども音楽療育士をめざして」担当 |
| 8月10日（金） | 周望学舎シニアサマーカレッジ 「リラックス☆心と体のメディテーション」 |

以上